



哲學研究

第六卷第八冊

第六十五號

大正十年八月一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十年七月二十七日印刷納本(毎月一圓一日發行)

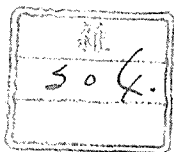
思惟の心理的研究に就いて……………文學士 大脇義一

伊藤仁齋の教育効果論……………文學士 高橋俊乘

シーク教の過去及び現在……………文學士 手島文倉

理念としての神の實在性……………濱田與助

京都帝國大學文學部
京都哲學會



京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ贊同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會ス
ルコトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納
スベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲
學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
文學士	寶嚴方夫

書記

寄贈書籍雜誌

ガント
倫理學綱要 東京 中島德藏 著
丙午出版社

ヘルマン・ゴージェン
新理想主義哲學序論 東京 兒玉遠童 譯
大村書店

原始生命論 東京 鈴木鷺山 著
東書店

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合合誌、
日華公論、教育研究、學校教育、教育、內外教育評論、國民教育
教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、

前 號 目 次

漢書藝文志の歴史觀……………	文學士	丹羽正義
哲學と人生……………	文學士	勝部謙造
ハウプトマンの神秘主義……………	文學士	成瀬無極
プラトーの美學(承前)……………	文學博士	深田康算
關係對象に就いて……………	文學士	務臺理作
彙報、新著紹介……………		

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪〇六六叁番 京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
 文學部内 振替口座大阪〇六六叁番

定 規 文 註

◎會員にあらざる識讀者の御註文及び廣告に關する件は内
 外出版株式會社へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
 ◎振替貯金にて御送金は（振替大阪三二九五五番）内外出版株式會社宛に願上候
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	數	定	價	稅
一冊	冊	金四拾錢	壹錢	稅
六冊	冊	金貳圓四拾錢	不申	受
十二冊	冊	金四圓八拾錢	不申	受

廣告料

一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年七月二十七日印刷納本
 大正十年八月一日發行
 第六十五號 第六卷 第八册

製複許不
 載 轉 禁

編輯者 京都帝國大學文學部内
 右代表者 京都哲學會

發行者 寶嚴方夫

印刷者 大谷仁兵衛

印刷所 須磨勘兵衛

内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區北小路新町西
 内外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五五番

發賣元

京都市下京區北小路通新町西
 東京市京橋區加賀町十番地
 内外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五五番

賣捌所

（東京）東京堂、東海堂、北隆館、
 上田屋、（大阪）盛文館、三文社
 （神戸）寶文館、川瀬書店
 （京都）共盛社

文化諸問題の解決

文學士 土田杏村 著

再版

文化主義原論

廉價普及版發行

紙表紙美裝 定價金參圓五拾錢 郵稅十八錢

其の學識と其の熱心とを以て今や論壇の寵兒たる土田氏の新著大冊也。從來の經濟學は英國功利主義の哲學に立脚したり、經濟理想論に於て功利主義的となるは自然の勢也。フエビアン協會派に對してナシヨナル・ギルドの起りたるは、實に自ら英國經濟學の破産を語るものに非ずして何ぞ。著者は本書に於て其の文化主義の立場より忌憚無く現代の改造諸主張を批評し經濟理想論のカント化を提唱したり。此れ經濟學界眞に一の新らしき研究也一面に於ては本書は最も完全なる最新ギルド社會主義の解説書批評書也。

- 第二編 總論、第二編 經濟理想論、第三編 文化主義政策論、
- 第四編 唯物史觀批判、第五編 ギルド社會主義批判

菊版五百頁
バビリン美裝
定價四圓五拾錢
郵稅拾八錢

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年七月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲學研究 第六十五號

發行所 內外出版株式會社

(番〇五一四下話電五五九二三阪大替振) 入西町新通路小北市都京